

2025年度 稲城市立病院（病床数 290）【1年次】

受入人数	【1年次】1名													
常勤・非常勤	研修手当					勤務時間	休暇				当直 /月	宿舎	社会保険・労働保険等	
	基本手当		賞与		時間外		休日	有給		夏季				年末年始
	1年次	2年次	1年次	2年次				1年次	2年次					
非常勤	300,000円		あり (勤務期間により変動あり)		勤務あり	勤務なし	基本 8:30～17:00	10日		なし	あり	2～4回/月 1回20,000円	なし	健康保険, 厚生年金, 雇用保険, 労災保険加入 通勤手当有

○ 研修診療科（必修科目）について

科目	研修内容（手技・症例数・指導医数等）
内科	当院内科は、呼吸器・循環器・腎臓・消化器・神経そして総合内科医の常勤医・指導医を有し、研修にあたっています。大学病院で遭遇するような稀有な病態ではなく、日常診療で遭遇する頻度の高い症状・疾患を中心に研修を行い、一般臨床医としてプライマリーケアを行うために必要な基礎的知識・技術を身につけるよう研修を行っていただきます。内科医としての基本的な手技は、上級医の下に、できるだけ積極的に行っていただきます。救急患者に関しても、上級医の下に診断から参加していただき、入院した際は担当医として指導医の下に、入院から退院までの診断・治療にあたってください。 大学病院では味わえない、地域に密着した医療を、自分の目で診断し、自分で加療に参加し、体得していただきたいと考えています。
外科	日常診療で頻繁に遭遇する外科疾患に適切に対応できるようにするため、実際の患者と接し、病態を理解しつつ診断から治療に至る過程を経験していただきます。プライマリー・ケアの基本的な診察能力を身につけるため、外科的救急疾患の医療現場を経験していただきます。 当院は、地域に密着した病院ですので、急性腹症の疾患が数多く搬送されます。上級医とともに、診断から参加し、どのような病態が緊急手術の適応があるのかの判断を、最低限行えるように研修させていただきます。また、悪性疾患の診断・治療方針等も、カンファレンス等で身につけていただき、上級医の下、救急患者・悪性疾患を中心とする入院患者の担当医となり、診断・治療に参加していただきます。当然、手術にもできるだけ参加していただき、できうる手技に関しては、指導の下、施行していただきます。 簡単な縫合等に関しては、上級医の下、施行できるようになることは必須ですが、やる気のある方、また手技が熟達した研修医には、簡単な手術に関しては、術者も経験していただけます。また、当院外科においては、中心静脈カテーテル挿入手技等は、上級医の指導の下、施行可能と判断されれば、研修医の仕事と考えております。とりあえず、手を動かし、外科基本手技、処置の体得をしていただくことを目指しております。
救急科	当院では救急科という独立した診療部門は存在しませんが、研修医は救急外来配属期間は救急外来に常駐し、各科指導医のもと、これら全科の救急患者の初期診療にあたり、研修を通じて種々の疾病・外傷に対する初期診療を適切に遂行する能力を身につけるようにします。 地域に密着した病院ですので、様々な病態を経験することが可能と思われます。
小児科	新生児から思春期、更にキャリアオーバーとなった成人までの幅広い年齢層を診療する。病気の治療するだけでなく、運動・精神発達、予防医学やさらに思春期の抱える心の問題までも考慮し、診療します。 小児科の研修を経て、子供は大人のミニチュアではないことを学んで欲しいと考えております。
産婦人科	年間分娩数が400件近くあり、産科の研修は充実しております。外来では妊娠した人の喜びを、分娩では生命誕生に立ち会い、その素晴らしさに感動してもらいたいです。お産はいつも天国と地獄が隣っています。いつも天国であるようつとめています。また、婦人科疾患への腹腔鏡下手術を積極的に行っており、手術を経験することにより、婦人科疾患に関して研修していただきます。
精神科	協力施設の桜ヶ丘記念病院で研修を行います。 精神保健・医療を必要とする患者とその家族に対して、全人的に対応するために、①精神症状の捉え方の基本を身につける②精神疾患に対する初期的対応と治療の実際を学ぶ③デイケアなどの社会復帰や地域支援体制を理解する。
一般外来	基本的には、内科外来を指導医の下で研修していただきます。当院は、各内科の専門外来も経験できますし、大学病院と異なり、感冒・高血圧等の身近な病気から、健診で指摘された異常、ちょっとした体の異変、さらに二次救急にあたるような救急症例も一般外来に、初診で受診します。Common diseaseを中心とした、一般外来を経験することで、総合診療内科としての経験が身につくと考えております。

以下、慶應義塾大学病院から研修医への注意事項

- ・ 外科研修はその他の外科系の診療科への振り替えは認めません。
- ・ 必修科目がある病院では、必ず必修科目を研修してください。振り替えは認めません。

必修科目の研修ができない場合、選択可能な診療科・・・必修科目はすべての研修が可能です。

○研修アピール
当院は必要とされる医師を育てることを目標に研修を実施します。
年間400件近い出産を扱っている産婦人科や小児科も備え、地域の基幹病院として第一線でニーズの高い医療を提供しています。このような環境でCommon diseaseを豊富に経験することでプライマリーケアに精通した必要とされる臨床医の基礎を築きます。大学病院で1年経験し、地域密着型の当院で1年経験することで、バランスの取れた研修を行うことが可能と思われます。
当院の指導医達の人柄は申し分なく、研修の際に生じる人間関係による軋轢等は皆無と考えてみてください。厳しい中にも、アットホームな環境での研修をお約束いたします。また、研修医とはいえ、一人の医師として当院では扱い、医療に参加していただきます。
また、当院は“病気にさせない病院”を目指しており、健診を充実させて地域住民の健康維持・推進に傾注しております。
基本的には、医療に関する一般的な施設がすべて整った、本当にきれいな、東京のベッドタウンである多摩地区の総合病院となっています。健診・外来棟と同じ建物内には、25mプール・ジム・スタジオも健康増進のために併設され、研修医の皆様も夜9時までの利用が可能です、全国でも数少ない病院と思います。
慶應義塾大学との相談の上ですが、当院における研修では、研修する診療科はカリキュラムにのっとりつつ中でできるだけ融通をきかせ、研修医の納得のいく選択にしたいと考えています。
是非、当院で、大学病院とは異なる環境で、地域に密着した研修を受けてください。

○研修医からのメッセージ
稲城市立病院研修医2年目の志賀です。当院での研修では、いわゆるcommon diseaseを数多く診ることができ、医師として基礎的な部分をしっかりと固めることができます。どの診療科の先生方も教育熱心な方ばかりで、手技実践や学会発表の機会も希望すればどんどん挑戦できます。
プログラムの柔軟性も当院の大きな魅力の一つです。どの順番でどの診療科をローテートするかは自由に決めることができ、年度の途中で変更したくなれば問題なく調整していただけます。大学病院などと比較し規模は小さいですが、その分こうした研修医の希望が通りやすく、私自身も非常に助かっております。また、私は現在、臨床研修協力施設である桜ヶ丘記念病院の精神科にて研修を行っています。医療保護入院など特殊な入院や隔離病棟の回診を見せていただいたり、病棟の患者さんについて指導医の先生から詳しく教えていただいたりと、稲城市立病院と遜色ない充実した研修が出来ています。
他にもこのスペースには書ききれないくらい、当院の研修には素晴らしいポイントがたくさんあります。ぜひご検討ください。

研修実施責任者：副院長 岩下 達雄
※問い合わせ先
担当部署・担当者名：管理課庶務係
住所：東京都稲城市大丸1171
TEL：042-377-0931
E-mail：info@hospital.inagi.tokyo.jp

2025年度 稲城市立病院 (病床数 290) 【2年次】

受入人数	【2年次】1名													
常勤・非常勤	研修手当					勤務時間	休暇				当直 /月	宿舍	社会保険・労働保険等	
	基本手当		賞与		時間外		休日	有給		夏季				年末年始
	1年次	2年次	1年次	2年次				1年次	2年次					
非常勤		300,000円		あり (勤務期間により変動あり)	勤務あり	勤務なし	基本 8:30~17:00		11日	なし	あり	2~4回/月 1回20,000円	なし	健康保険、厚生年金、雇用保険、労災保険加入 通勤手当有

○研修診療科（必修科目）について

科目	研修内容（手技・症例数・指導医数等）
地域研修 (在宅を含む)	沖縄の海邦病院にての研修が可能です。
一般外来	基本的には、内科外来を指導医の下で研修していただけます。当院は、各内科の専門外来も経験できますし、大学病院と異なり、感冒・高血圧等の身近な病気から、健診で指摘された異常、ちょっとした体の異変、さらに二次救急にあたるような救急症例も一般外来に、初診で受診します。Common diseaseを中心とした、一般外来を経験することで、総合診療内科としての経験が身につくと考えております。
外科	日常診療で頻繁に遭遇する外科疾患に適切に対応できるようにするため、実際の患者と接し、病態を理解しつつ診断から治療に至る過程を経験していただけます。プライマリー・ケアの基本的な診察能力を身につけるため、外科的救急疾患の医療現場を経験していただけます。 当院は、地域に密着した病院ですので、急性腹症の疾患が数多く搬送されます。上級医とともに、診断から参加し、どのような病態が緊急手術の適応があるのかの判断を、最低限行えるように研修させていただきます。また、悪性疾患の診断・治療方針等も、カンファレンス等で身につけていただき、上級医の下、救急患者・悪性疾患を中心とする入院患者の担当医となり、診断・治療に参加していただけます。当然、手術にもできるだけ参加していただき、できる手技に関しては、指導の下、施行していただけます。 簡単な縫合等に関しては、上級医の下、施行できるようになることは必須ですが、やる気のある方、また手技が熟達した研修医には、簡単な手術に関しては、術者も経験していただけます。また、当院外科においては、中心静脈カテーテル挿入手技等は、上級医の指導の下、施行可能と判断されれば、研修医の仕事と考えております。とりあえず、手を動かし、外科基本手技、処置の体得をしていただくことを目指しております。
小児科	新生児から思春期、更にキャリアオーバーとなった成人までの幅広い年齢層を診療する。病気の治療するだけでなく、運動・精神発達、予防医学やさらに思春期の抱える心の問題までも考慮し、診療します。 小児科の研修を経て、子供は大人のミニチュアではないことを学んで欲しいと考えております。
産婦人科	年間分娩数が400件近くあり、産科の研修は充実しております。外来では妊娠した人の喜びを、分娩では生命誕生に立会い、その素晴らしさに感動してもらいたいです。お産はいつも天国と地獄が隣あっています。いつも天国であるようつとめています。また、婦人科疾患への腹腔鏡下手術を積極的に行っており、手術を経験することにより、婦人科疾患に関して研修していただけます。
精神科	協力施設の桜ヶ丘記念病院で研修を行います。 精神保健・医療を必要とする患者とその家族に対して、全人的に対応するために、①精神症状の捉え方の基本を身につける②精神疾患に対する初期的対応と治療の実際を学ぶ③デイケアなどの社会復帰や地域支援体制を理解する。
麻酔科	周術期(術前、術中、術後)の麻酔管理を通じて、呼吸・循環・代謝等の生理機能の理解を深めるとともに麻酔の理論・知識・技術を修得します。気管内挿管はもちろんのこと、腰椎麻酔・硬膜外麻酔も、修練を積んだ研修医には、施行していただいております。最低でも、基本的な全身麻酔の管理は行えるように研修していただけます。

○選択科目について（選択できる診療科）

内科	外科(一般消化器・乳腺)	小児科	産婦人科	整形外科
脳外科	泌尿器科	耳鼻咽喉科	皮膚科	
眼科	麻酔科	放射線科	精神科	
備考				

※地域研修の施設は、記載されている協力型病院の施設に限られます。

○研修のアピール

当院は必要とされる医師を育てることを目標に研修を実施します。
年間400件近い出産を扱っている産婦人科や小児科も備え、地域の基幹病院として第一線でニーズの高い医療を提供しています。このような環境でCommon diseaseを豊富に経験することでプライマリーケアに精通した必要とされる臨床医の基礎を築きます。大学病院で1年経験し、地域密着型の当院で1年経験することで、バランスの取れた研修を行うことが可能と思われます。
当院の指導医達の人柄は申し分なく、研修の際に生じる人間関係による軋轢等は皆無と考えていてください。厳しい中にも、アットホームな環境での研修をお約束いたします。また、研修医とはいえ、一人の医師として当院では扱い、医療に参加していただけます。
また、当院は“病気にさせない病院”を目指しており、健診を充実させて地域住民の健康維持・推進に傾注しております。
基本的には、医療に関する一般的な施設がすべて整った、本当にきれいな、東京のベッドタウンである多摩地区の総合病院となっています。
健診・外来棟と同じ建物内には、25mプール・ジム・スタジオも健康増進のために併設され、研修医の皆様も夜9時までの利用が可能で、全国でも数少ない病院と思います。
慶應義塾大学との相談の上ですが、当院における研修では、研修する診療科はカリキュラムにのっとり中々できるだけ融通をきかせ、研修医の納得のいく選択にしたいと考えています。また、当院は本人の希望があれば、沖縄の海邦病院等に地域医療として1か月間研修が可能です。
是非、当院で、大学病院とは異なる環境で、地域に密着した研修を受けてください。

研修実施責任者：副院長 岩下 達雄

※問い合わせ先

担当部署・担当者名：管理課庶務係

住所：東京都稲城市大丸1171

TEL：042-377-0931

E-mail：info@hospital.inagi.tokyo.jp